

Happy



New year

就労継続支援 B 型事業所  
ワーカーズホームからの最新情報をお届け

# ばっぺーる通信

No.06Vol.02

ばっぺーる通信とは…ワーカーズホームの活動報告やお知らせなどを皆さまへお伝える通信です。興味を持って読んでくださったらうれしいです。そしてコーヒーを注文していただけるともっとうれしいです。

## 「ばっぺーる」店長Talk

### 偶然から生まれた新商品

ワーカーズホームではコーヒー、紅茶を、ネパール・カトマンズで活動している依存症回復支援施設「The Recovering Group」の代表 Suyash が問屋に買いに行き発送してくれています。毎回送ってほしい種類をオーダーするのですが、毎回、段ボールを開けるとときドキドキします。

と、いうのもオーダーしたものと違う商品がたまに送られてくることからです。

先日のことです。チャイ用にスパイスがブレンドされた茶葉をいつものように Suyash 君に発送してもらおうようメールでお願いしました。ネパールから沖縄まで荷物を送ると約1週間ほどかかります。メールして送金した1週間後にネパールから段ボールが届きました。いつものようにドキドキしながら開封すると、あれ、なんかいつもと違う茶葉が入っているじゃないですか。煮出すチャイ用の茶葉は細かく粉砕され、封を切るとスパイスの香りが漂ってきます。ところが今回送られてきた茶葉は緑茶のように大きめの茶葉で、スパイスの香りもありません。

Suyash 君にメールで確認すると「チャイ用の茶葉で間違いない」との返答です。お皿に出して鼻の中に吸い込まれるんじゃないかというくらい吸い込んでみましたが、スパイスの香りはありません。なにより袋には「TIAM VALLEY TEA」と書かれているじゃないですか！

巨大なそばがらまくらのような茶葉の袋を前に十分ほど呆然としていま



→利用者3名と利用グループを一緒にオーブで提供した。クック場提終了後肉をいただきました。



↑自立生活センターイルカ主催の人権映画館においてコーヒーの販売を行いました。



だが、気をとりにおして飲んでみました。ほのかに甘い香りが漂う軽い飲み口で、まあ、これはこれでありかな、となりました。紅茶と烏龍茶の中間のような味わいでどんな食事にもあうようです。

そんな経緯で誕生したばっぺーるティーをぜひご賞味ください。次に同じ紅茶が届く確証はありませんので数量限定となります。

## 事業所拡大に伴い利用者募集中！

ワーカーズホームでは事業所拡大につき利用者を募集しています。

身体、知的、精神に障害を持つ方、若年性認知症の方、アルコールや薬物、ギャンブルなど依存の問題を持つ方が現在利用し、男女比では男性3割、女性7割と女性が多く利用しています。作業内容はコーヒー豆の選別、焙煎、袋詰め、販売のほか、コーヒー畑での作業があります。ご自身のその日の体調に合わせて作業を決めていただきます。利用時間は午前十時から午後四時までです。宜野湾市内とその近隣への送迎を行っています。見学、体験利用はいつでもお受けいたしますのでお気軽にご連絡ください。

電話 098-955-1692

ワーカーズホームの商品はこちらからお問い合わせいただけます。→



ばっぺーる通信 No.06Vol.02  
2019年2月1日発行  
発行 一般社団法人むら  
沖縄県宜野湾市大謝名 4-6-28  
電話 098-955-1692  
Eメール info@muraokinawa.org  
Web muraokinawa.org